

【参考資料3】

令和6年度合理的根拠に基づく政策形成体制構築業務
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項目	内容										
1	日時 令和6年3月19日9時30分から12時まで										
2	場所 本館3階経営戦略審議官会議室 ※提案者はZoomにより出席										
3	出席委員 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">総務局</td> <td style="width: 50%;">施策形成・広報担当部長</td> </tr> <tr> <td>総務局施策形成支援チーム</td> <td>政策監</td> </tr> <tr> <td>総務局統計課</td> <td>課長(代理)</td> </tr> <tr> <td>総務局人事課</td> <td>課長(代理)</td> </tr> <tr> <td>健康福祉局健康づくり推進課</td> <td>課長</td> </tr> </table>	総務局	施策形成・広報担当部長	総務局施策形成支援チーム	政策監	総務局統計課	課長(代理)	総務局人事課	課長(代理)	健康福祉局健康づくり推進課	課長
総務局	施策形成・広報担当部長										
総務局施策形成支援チーム	政策監										
総務局統計課	課長(代理)										
総務局人事課	課長(代理)										
健康福祉局健康づくり推進課	課長										
4	議題 令和6年度合理的根拠に基づく政策形成体制構築業務										
5	担当部署 施策形成支援チーム										
6	開催方法 参集										
7	<p>議事内容</p> <p>業務予定者の選定にあたり、次のとおり委員から評価・選定理由を確認した。 A社:株式会社メトリクスワークコンサルタンツ B社:株式会社電通西日本広島支社 C社:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社</p> <p>【A社】 <u><ノウハウ、経験、実績></u> ○ 業務を遂行できる確かなノウハウや実績を有している。 ○ ノウハウと実績を有しており、信頼できる。 ○ 過去に各自治体との間での類似業務実績が豊富である。 ○ 職員の意思決定やフォローを大切にしたいと考えていることはよくわかった。</p> <p><u><個別施策に係る施策効果の分析評価></u> ○ 個別施策に取り組んでいく中で、職員にどれだけ寄り添い支援を進めていくのか不安が残る。 ○ 仮説構築への寄り添い方は不安が残る。</p> <p>【B社】 <u><ノウハウ、経験、実績></u> ○ 戦略策定などの行政機関の支援経験は豊富だが、当プロポの求める内容とは少し異なる。 ○ EBPMに関し、過去どのような経験を積んできたのか、プレゼンや資料からは具体的にわからない。</p> <p><u><個別施策に係る施策効果の分析評価></u> ○ 様々なフレームワークの活用事例はあるが、個別施策の伴走支援の具体的な提案がなく、不安。 ○ 政策形成プロセス・手続きの「標準フォーマット化」ができるのか疑問がある。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>										

<職員の企画立案スキルの強化>

- 個別施策を進める中で、人材育成の観点からの職員のフォローアップは不透明である。

<実施体制>

- (計量経済学等)専門人材の体制が十分でない。

【C社】

<ノウハウ、経験、実績>

- 業務を遂行できる確かなノウハウ、実績を有している。
- (経験からは)一歩踏み込んだ伴走的な支援が期待できる。

<個別施策に係る施策効果の分析評価>

- 施策の分析評価を進める上で、支援の手順を明確化しており、担当者の理解を得ながら分かりやすく進められるものと期待できる。
- 伴走支援の方針が明確であり、どのプロセスについても実現可能性があると認められる。
- 少し高度な内容であり、経験の少ない職員や新任の職員には、もう少し入門的な支援も必要ではないか。

<分析評価結果の理解しやすい説明>

- 個別施策の分析評価を行う中で、人材育成を踏まえ、分かりやすく整理・説明をしていこうとする姿勢が評価できる。

【総合評価】

- 遂行能力、提案内容及び実施体制の面から、最も効果的な業務遂行が期待できるのはC社である。

(以上)